



# 連合徳島

vol. 299

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1  
徳島県労働福祉会館内  
tel. 088 (655) 4105  
fax. 088 (655) 4113  
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp  
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行: 日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 島 和 久



### 当面の日程

- ◎ 2月1日(金) 2019春季生活闘争開始宣言徳島集会・「連白書」学習会 (労働福祉会館別館5階ホール)
- ◎ 2月23日(土)～24日(日) 徳島県中小労働対策本部第28回定期総会・一泊研修会 (ザ・グランドパレス徳島)
- ◎ 3月4日(月) 2019春季生活闘争勝利3.4徳島県総決起集会 (あわぎんホール)



## 2019新年のご挨拶

日本労働組合総連合会  
会長 神津 里季生

新年明けましておめでとうございます。連合運動に対する日頃のご指導・ご支援に心より御礼申し上げます。

今年、連合は結成30周年を迎えます。この29年間、労働組合としての日常的な取り組みに加え、社会の不条理に立ち向かうとともに、地域に根差した顔の見える運動を積み上げてきました。30周年の節目に向けて、各構成組織・地方連合会との丁寧なコミュニケーションによる情報共有と合意形成に努め、一体感のある運動を推進し、組織力・政策力・発信力強化に全力で取り組んでいく所存です。そして、将来を見据えた新たなビジョンを示し、希望ある未来づくりへの運動を打ち出してまいります。

春季生活闘争は、月例賃金の引き上げにこだわり、賃上げの流れを継続・定着させるとともに、中小組合や非正規雇用で働く労働者の賃金を「底上げ・底支え」「格差是正」する取り組みの実効性を高めていくことが不可欠です。2019闘争においては、賃金の上げ幅のみならず、賃金水準を追求する闘争の強化が求められます。

働き方改革についても、社会への発信、世の中全体へ広げていく視点が重要です。すべての職場で36協定が適切に締結されるよう、労働組合は世の中全体の運動を牽引することが重要です。連合全体で「Action!36」に取り組み、3月6日、「36(サブプロク)の日」の一つのシンボルとして、ともに大きなうねりをつくり出していきたいと思います。

こうした取り組みの基盤となるものが、集团的労使関係の構築です。構成組織・地方連合会と連合本部による三位一体の取り組みで、連合は15年ぶりに「700万連合」を回復いたしました。依然8割以上の働く仲間が集团的労使関係の外に置かれています。私たちはこのことに正面から向き合い、すべての働く者にとっての労使関係の重要性・必要性を強く訴えていくことが必要です。

働く者・生活者の立場に立った政策により「働くことを軸とする安心社会」を実現するためには、弊害ばかり目立つ一強政治を打破しなければなりません。昨年11月30日には、立憲民主党、国民民主党と、第25回参議院議員選挙に向けた政策協定を締結いたしました。統一地方選と参院選が重なる12年に一度の極めて重要な今年、働く者・生活者の立場に立つ政治勢力の拡大に向け、総力を挙げて闘っていきましょう。

本年も、連合に対する一層のご支援をお願いするとともに、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。

参加者間の歓談は、新居連合徳島会長代行による、来賓あいさつに対する御礼と元氣溢れる乾杯の発声によりスタートした。旗開きの交流の機会を通じて、連合徳島に集う各構成組織間の情報交換を行うとともに、第19回統一地方選挙における推薦立候補予定者および、第25回参議院議員選挙での比例代表選挙に立候補を予定している10構成組織代表者から力強い決意表明を受けた。

閉会あいさつで、鎌谷連合徳島副会長は、来賓組織ならびに構成組織に対して連合徳島の活動に引き続きご協力をいただくことをお願いし、2019年旗開きを締めくくった。

新年明けましておめでとうございます。ご家族おそろいで穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、連合徳島の運動に對しまして格別のご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨災害、9月の北海道胆振東部地震、そして度重なる大型台風の直撃など、大規模な災害が頻発した年でした。

とりわけ、広域かつ大規模な被害が発生した西日本豪雨災害における被災地支援として、連合四国ブロックは、四国で最も被害の大きかった愛媛県宇和島市に災害ボランティア派遣をすることとし、7月から8月にかけて延べ6日間にわたりブロック全体で625名、徳島からは91名のボランティアが宇和島市の復旧支援に入りました。

この派遣におきましては、連合徳島の構成組織のみならず、連合徳島ボランティアサポーターチーム養成講座の受講生を中心に、労働福祉団体の役員や国民民主党関係者などにもご参加をいただき貴重な経験を得るとともに被災地の方々からも身に余る評価を頂きました。

ご参加頂きました皆様方と送り出させていただきました関係組織・団体に改めて感謝申し上げます。

さて、昨年は、働く者にとって残業時間の上限規制など大きな法改正が行われました。改正内容の施行は、早いもので4月1日からスタートとなりますが、施行が猶予されている事項についても、2019春闘期から積極的な議論をスタートさせ、長時間労働を撲滅し、働く者の命と健康を守り、ワーク・ライフ・バランス社会を実現するため、職場や地域から積極的に働く者のための「働き方改革」を推進させることが重要です。

連合はその一環として、「クラシノソコアゲ応援団」キャンペーンに36協定の必要性・重要性を周知するための「Action!36」運動を加え、地域活性化を促す「地域元氣フォーラム」の継続的な開催など「ヨコの広がり・タテの深掘り」を意識しつつ、積極的な内外へのコミュニケーションで運動のすそ野を拡げ、お互いに努力を重ねていくことが重要であると考えます。

連合は、今年結成30周年を迎えるにあたり、「働くことを軸とする安心社会」の考え方を踏襲し発展させた「新たな連合ビジョン(仮称)」を策定します。この実現に向けて、一人ひとりが自らの「雇用や生活」と「政治や政策・制度」とのつながりを認識し、行動を促すための取り組みが不可欠です。具体的な取り組みとしての統一地方選挙や参議院議員選挙における推薦候補者全員の当選に向けて各構成組織・単組のご奮闘をお願いします。

今年が皆様方にとりましてよき年になりますようお祈り申し上げますとともに、私たち連合の運動に対する皆様方のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。私のあいさつにさせていただきます。

月8日、徳島ワシントンホテルで「2019年連合徳島」



森本会長が構成組織組合旗パネルを背景に主催者挨拶

森本会長が構成組織組合旗パネルを背景に主催者挨拶

森本会長が構成組織組合旗パネルを背景に主催者挨拶

森本会長が構成組織組合旗パネルを背景に主催者挨拶

## 2019 連合徳島旗開き

# 旗開きで連合徳島活動開始

## 2019春季生活闘争に全力で奮闘

第25回参議院選挙・第19回統一地方選挙の勝利へ



乾杯の発声をする新居会長代行

主権者代表挨拶で森本連合徳島会長は、来賓をはじめ参加者に対して、日頃の連合徳島の諸活動へのご理解とご協力に対する感謝を述べるとともに、本格的に働き方改革を実現していく上で、36協定の適正締結や長時間労働の撲滅などを目標として「Action!36」を展開していることや第19回統一地方選挙・第25回参議院議員選挙での推薦立候補予定者の全員勝利を目指すことを訴え、参加者に引き続きの協力を呼び掛けた。

ご来賓からは、各参加団体を代表して、飯泉徳島県知事・笠田徳島労働局長・徳島市長・岩浅阿南市長・豊井徳島市第二副市長・山城徳島県中小企業家同友会代表理事・藤岡全労済徳島推進本部長・武内立憲民主党衆議院議員から挨拶を受けた。



日本労働組合総連合会  
徳島県連合会

会長 森本 佳広

## 2019新年のご挨拶



# 全国一斉集中労働相談ホットライン開設周知

連合徳島は、2018年12月4日に「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキヤンペーン」と「特定最低賃金」「全国一斉集中労働相談ホットライン」「アクション36」をテーマに徳島駅前街宣行動を行い、各構



道行く人にアピールする弁士ら

成組織等から27名が参加し、街宣行動・ピラ配りを行った。

冒頭、連合徳島新居会長代行から12月11日、12日において全国一斉集中労働相談ホットライン開催について周知した後、「連合は、『働くことを軸とする安心社会の実現』を目標に掲げ、互いに助け合い、安心に希望を持って働き、暮らせる社会の実現を目指している。そのためには賃金をはじめとする労働諸条件の『底上げ・底支え』『格差是正』を継続的に取り組み、社会保障と税の一体改革の着実な推進、教育の機会均等や、

能力開発の強化を通じて、雇用と暮らしの安全・安心を確保なものにしていく必要があると考えている。2019年春季生活闘争では、賃金制度が確立されていない企業や労働組合が無く自分たちの賃金改善、労働条件要求が出来ない立場の人達に手を差し伸べていく活動に取り組み」と訴えた。

続いて、徳島県中小労働対策本部原田議長、連合徳島女性委員会藤田委員長、公益社団法人徳島県労働者福祉協議会川越会長、国民民主党徳島県総支部連合会庄野代表から、「36協定の意味と労働条件改善の必要

性」「すべてのハラスメント撲滅」「社会保障と奨学金制度のあり方」「高齢化対策と地域企業の活性化」についてそれぞれの立場から述べた。

12月11日、12日に開設した全国一斉集中労働相談ホットラインに寄せられた相談は、来局2名で「健康保険の加入」「産休制度の適用」の2件であった。



県民にピラとティッシュを配布

# 連合徳島 第10回定期大会

2018年12月23日、連合徳島会議室において、地域ユニオン組合員、連合徳島構成組織等から10名が参加して連合徳島地域ユニオン第10回定期大会を開催した。

冒頭、連合徳島地域ユニオン執行委員長から、1年間を振り返って、地域ユニオンの取り組みと、第19回統一地方選挙並びに、第25回参議院議員選挙に向けての取り組みを説明後、「連合徳島5万人への実現に向けて非正規雇用労働者や未組織労働者の組織化を推進していく。連合徳島地



島執行委員長の発声で団結ガンバロウ

域ユニオンは連合徳島と連携して今後も、『働くことを軸とする安心社会』の実現に向けて運動していく」と挨拶。

続いて、徳島県農協労連竹谷書記次長からの連帯・激励挨拶のあと、活動経過・会計について山本書記長が報告、会計監査について田村会計監査員が報告し、満場の拍手で承認された。活動方針・会計予算・役員体制・徳島市議会議員選挙立候補予定者の推薦についても満場の拍手で承認され、推薦決定が決まった春田洋（はるた・ひろし）氏（徳

島県農協労連）からは「地域の発展に向けて全力で頑張りますので、応援を宜しくお願いします」と決意表明。

最後に、島執行委員長の閉会挨拶と団結ガンバロウで大会を終えた。

2018年12月3日、徳島県労働福祉会館502会議室において「連合徳島青年委員会2019総会」が開催され、各構成組織から34人が参加した。

冒頭、開会の挨拶を近藤副委員長（J.P.労組）が述べた後、議長に阿佐代議員（自治労）が選出され総会が進められた。小畑委員長（電力総連）からは「現在、職場でのパワハラ問題等が多いと聞くが、コミュニケーションが上手くとれていないと思う。相手の立場になり自分たちの職場から、思いやりのある働き方改革をしていこう」と述べた。

続いて、連合徳島 森本会長からは、連合徳島青年委員会活動計画（案）第1号議案：2019年度青年委員会活動計画（案）



各構成組織から34人が参加

委員会の日頃の取り組み・運営を評価するとともに「働き方改革関連法が施行されるに当たり時間外労働の上限規制や36協定が働く者にとって必要性であること」を「アクション36」などを通じて周知していく。また、来年の第19回統一地方選挙ではすでに立候補予定者の推薦が連合徳島第30回中間大会で決定しており、全員の当選に向けて取り組み。今後も連合徳島青年委員会の活躍に期待する」と挨拶。

2018年度活動経過報告、会計監査報告を長谷川事務局長（自治労）より報告の後、参加者全員の手で承認された。

新役員との挨拶では、旧役員となった長谷川事務局長より「青年委員会役員と

閉会の挨拶を松本幹事が述べ、小畑委員長（電力総連）の団結ガンバロウで閉会した。

## 青年委総会

# 第19回統一地方選挙勝利へ意思統一

# 2019年度活動方針 満場一致で承認

## —女性委員会第30回中間期総会—

連合徳島女性委員会は2018年12月3日、労働福祉会館5階502号室において32単組41人の参加のもと、第30回中間期総会を開催した。議長に、電力総連の漆原代議員を選出。女性委員会を代表して、藤田女性委員長は、「宇和島の災害へのボランティア活動へのたくさんの女性の参加に感謝する。女性委員会としても、防災・減災対策について連合徳島を通じて自治体に求めていく運動を強めて行く。男性の家事、育児への関わりを少なさが女性の就業継続を困難にしてい

る。女性を対象とした政策実現と並行して男性社会における、働き方、ライフスタイルと意識を根本的に変えていくことが重要だ。大会・地方委員会の女性代議員を増やすため、4月に各構成組織に要請行動を行ったが、11月の中間期大会では、増加はなかった。今後、継続した取り組みが必要だ」とあいさつ。

議事では、三木事務局長が2018年経過報告、2019年活動方針（案）の提案を行い、質疑では、自治労三好市職労連から、4月に行われた三好市議会選挙に対するお礼の発言があり、その後、全体の拍手で承認された。福榮委員の総会宣言、議長のスローガン提案、承認のあと、藤田委員長の団結ガンバロウで閉会した。



藤田委員長団結ガンバロウ